

ヤマト、製缶加工を買収

電気炉・真空装置など増産

ヤマト（大阪市平野区、辻井章社長）は東大阪市内の製缶加工会社を買収した。同社は事業継承への懸念から業績が低迷していたが、ヤマト傘下で事業を立て直す。加えて、電気炉や真空装置などの需要拡大で余力がなくなっているヤマトの生産能力を補完する狙いもある。ヤマトは2016年から、成長に向けて戦略的に企業を買収しており、今回は3件目となる。

買収したのは中島工 勤率が低迷していた作所で、延べ床面積1 が、大手企業との取引000平方メートル以上の工 実績があるなど技術力場にクリーンなどを備 は評価されており、買え、大型の真空炉などの 収により経営が安定すの製造に対応する。最 れば立て直しは可能と近では従業員が10人程 判断した。工場にも投度まで減少し設備の稼 資し、新規顧客も開拓



ヤマトは本社工場の増産への余力不足が課題となっていた

も進める考え。同社は 各種工作機械を保有 外注先としても活用す し、製缶だけでなく切 削加工などにも対応で するなどして技術交流 けるため、買収により

サプライチェーン（供給網）の強化につなげる。 ヤマトは電気ヒータや熱電対などを手がけるが、最近ではそれらの応用製品である電気炉や乾燥炉など完成品の事業が拡大。売上高の8割を装置関連が占めている。特に真空装置の販売が固体電池の研究開発など向けに伸びており、自社工場の生産能力増強が課題となっていた。

エネ産業創出支援

事業化調査などに補

大阪府はエネルギー産業創出を促進するた 2024年度に研究の 野別投資戦略に位置付

ロボ「当たり前」の存在に

未来機械が20周年式典

【高松】未来機械（高松市、三宅徹社長）は、本社で設立20周年記念式典を開いた。式典には金融機関や投資先など70人以上が参加した。三宅社長は「これからもテクノロジでロボットを当り前の存在にし、人々を苦役から解放するミッションを果たして

自律制御型拭き口ロボットやソーラーパネル清掃ロボットなどを手がけ、同ロボットは中東などで使用されている。建設現場の作業を効率化する墨出口ロボットなども製品化した。

同社は3月に四国経済産業局の全国・世界にはばたく有望なスタートアップとして「Startup W



女性デジタル人材育成

奈良県などプロ立ち上げ

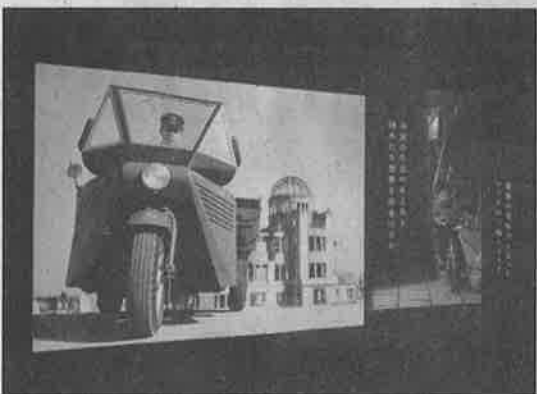
7-11月に開催



【奈良】奈良県は女性デジタル人材を育成する。M.A.I.A（マイア）区、S.A.P.ジャパン（同千代田区）の3社によるコンソーシアムとの人材育成プロジェクトを立ち上げ、7-11月にデジタル技能を習得し、育成研修で女性のデジタル人材の活躍を推進する

【高松】未来機械（高松市、三宅徹社長）は、本社で設立20周年記念式典を開いた。式典には金融機関や投資先など70人以上が参加した。三宅社長は「これからもテクノロジでロボットを当り前の存在にし、人々を苦役から解放するミッションを果たして

「原爆からの復興」伝える



広島企業16社 市内公園に展示室

ヒロシマII写真」を開場する。2023年5月に開催されたG7広島サミット（先進7カ国首脳会議）に合わせて期間限定で実施していた同名の展示会のコンセプトを継承しつつ、映像を中心とした内容に再編して常設展示施設とした。

【株】田健一 倉庫車 20万 光（1） 岡田平 外装全 11万 け▽油 所（1） ②平良 環境ア 然環境 質・衛 3500 3500 3500 3500

自治体

産業政策の

目玉

2024 京都府は2024年を通じて支援体制をアピ度予算でスタートアップし、国内外のスタートアップを拡充する。スタートアップや関連企業タートアップの海外進 の集積を図る。 出と海外企業・人材の 京都府のスタートア 誘致を促す「グローバル 海外を念頭に置く。 エコシステム構築事 「日本のスタートア ュ」は前年度比約2・ プは企業数、規模とも 5倍の1億2800万に海外に及ばない。ス 円を計上した。国際的 タートアップが大きく なスタートアップイベ なるためには、海外で ントの開催や展示会を のビジネスが必要

新興の海外進出支援

国際イベントで誘致加速

（商工労働観光部産業 振興課の安達雅浩課 長）との問題意識から

同事業予算では、世 界中のスタートアップ 関係者が集うイベント 「IVS」の関連費用 を計上した。07年に始 めたイベントで、24年 も前年に引き続き、府 内で開催する。同時開 催のピッチイベントで は、最高評価企業に最 大1000万円を授与 する「スタートアップ 京都国際賞」を23年に

京都府



創設し、において分か 八千代市）が受賞し る排せつセンサーを提 案したaba（千葉県 京都府が継続してフォ

課長は「さらに海外と のつながりを強める」と力を込める。 このほか、スタートアップ集積を促すオー プンイノベーションエ リアの形成にも取り組 24年は7月4-6日 京都パルスプラザ（京都市伏見区）など で開く。スタートア ュ産業といった海外の プ京都国際賞の授与を 定した。24年度の「産 の来場を前年比2倍の 業創造リーディング 4000人に増やす計 画。来場を促す企画を の補正予算を含め、5 目下、検討中だ。安達 億1785万円を計上 した。京都の特色を生 出した次世代産業の創 出を加速する。

REGIONAL ECONOMY

西日本

健康

▽▽

テ